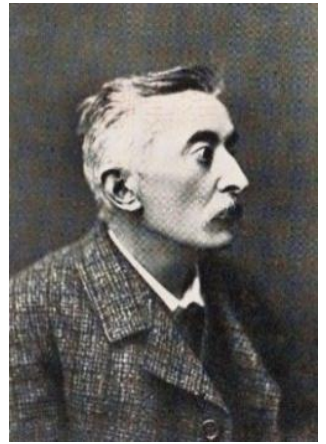


# 小泉八雲の神戸時代

ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)といえば誰でも松江を想起しますが、彼が松江に住んでいた期間(1年3か月)は、次の熊本(3年)、その次の神戸(2年)、最後の東京(8年)に比べると一番短いのです。  
神戸で結婚・帰化して小泉八雲となったハーン、その知られざる神戸時代の姿を紹介します。



出典: 国立国会図書館「近代日本人の肖像」  
(<https://www.ndl.go.jp/portrait/>)

日時 **12月16日(火)**

午後2時～3時30分

場所 **中央公民館 視聴覚ホール (生涯学習センター内)**

講師 **楠本 利夫 さん (シニアルネサンス研究会理事長)**

受講料 **無 料**

対象 **猪名川町在住・在勤の人優先 (先着30名)**

申込 **11月1日(土) から 電子申請 または**

**中央公民館窓口、電話(766-8432)にて受付**

↑ 電子申請 ↑

※11月21日(金)以降は、空きがあればどなたでも申込みいただけます

※手話通訳及び要約筆記が必要な方は11月20日(木)までに、中央公民館窓口  
(FAX 766-8345) までお申し込みください。



## 〈講師プロフィール〉

博士(国際関係学)。専門は、自治体国際政策、神戸近現代史。神戸市職員を経て、立命館大学客員教授、芦屋大学教授等歴任。老年学・シニア生涯学習をライフワークとし、超長寿社会を幸福社会にするため、シニアルネサンス研究会を設立し、「シニアの活躍で社会活性化・魅力化」を目指す。また、「神戸発世界行き」の海外移住者を称えるため市民運動で、メリケンパークに「海外移住者家族像」を建立(2001年)。

著書:『移住坂—神戸海外移住史案内』(セルポート、2003年)、『国際都市神戸の系譜』(公人の友社、2007年)、『自治体国際政策論』(公人の友社、2012年)、『神戸の商店:開港神戸のにぎわい』(共著:神戸新聞総合出版センター、2017年)

ハーン関連論文:「ラフカディオ・ハーン的神戸」(『へるん』第55号、2018年)、「ラフカディオ・ハーン神戸時代の眼科医」(神戸外国人居留地研究会編『近代神戸の群像—居留地の街から』神戸新聞総合出版センター、2023年)

【申込み・問合せ】 猪名川町中央公民館 TEL 072-766-8432